

SNSの活用は
対話の一つ

今だから繋がろう、対話しよう



第2198号

編集兼発行人
埼玉県教職員組合
情報宣伝部
さいたま市浦和区高砂
3-12-24教育会館内
電話048 (824) 2511
(一部 10円)
毎月15日発行

(組合員の購読料)
は組合費に含む

埼玉組メールアドレス
saikyouso@
kyouiku-net.org
埼玉組ホームページ
http://
www.kyouiku-net.org



世代に応じた 方法と対話で

7月に入りましたが、新規組合加入(新採、本採、臨採)は3ヶ月継続中です。コロナ禍の中でも、組合の必要性を感じた本採用や新採用の方、管理職のパワハラ問題を機に組合の仲間に加わってくれた方たちです。組合加入に結びつかずとも、私たちの運動に理解を示している、あるいは組合はなくてはならない必要な存在であるという認識の未組合員は数多くいるはず。そうした対象者に対し、どのように対話を進めていくか。ポイント是对話を行う対象者への「世代に応じた方法と対話の内容」です。

若い世代は組合が何かを知らない世代、ベテラン層は若手時代に組合員が周囲にたくさんいて、組合とは何かを知っている世代。これだけでも大きな違いです。若手に対する組合加入の対話で壁となるのは「組合を知らない」↓「加入するメリットを感じない」という部分であると、私自身が対話をする際に強く感じたことです。一方で、若い世代は表に出さない長時間過密労働や部活動問題等にたいする不満や「これはおかしい」という問題意識を強くもっている世代でもあります。しかし、組合を知らないからSNSで愚痴って終わってしまう。そんな彼らに組合を知らせるためには組合側もSNSを活用する他ないのです。これも対話の1つの方法です。



組合もSNS 利用しよう

先日の支部・単組・専門部代表者会議で夏の対話集中月間についてお願いをさせていただきました。職場で組合の風を吹かせ、関心を寄せる未組合員には直球勝負の対話で、忙しい中での対話となれば、加入グッズの活用や埼玉組のSNSアカウントを知らせるといった対話の方法、組合員一人ひとりができる対話の対象者の「世代に応じた方法と対話」を意識して行なってみましょう。また、この夏は新たに加入した仲間や支部・単組で普段なかなか繋がれていない仲間と交流を深め、仲間意識を強く持てる機会を設定し、お互いに元気づけられる時間を設けましょ

コロナ禍・自然災害のもとで働く公務員に適正な賃金・労働条件を

人事院は、公務員給与と民間企業従業員の給与を比較するために、2020年度職種別民間給与実態調査を6月29日より7月末にかけて実施しました。例年は、5月初旬より調査員が直接訪問し月例給与と一時金について一括して調査を実施していますが、今年はコロナ感染症拡大の影響から、訪問による調査を一時金のみを先行して調査するとしています。

調査対象の民間企業規模を50人以上と引き下げた後には、公務員の賃金水準を下げる力が働きました。今回の一時金先行の調査が、公務員賃金にどんな影響を与えるかわかりませんが、コロナ危機の中で働く公務員賃金を引き下げることは許されません。「公務労働者の賃金・労働条件の改善を求める署名」を緊急に職場でまわしましょう。



埼玉組ツイッターで拡散中!

埼玉組 (埼玉県教職員組合) ... 3日
拡散希望!
いよいよ明日は第1回目(※)の全教プロジェクトを立ち上げました。毎週金曜夕方15分間、Zoomを使ったライブ配信します!
みなさん、ぜひご参加下さい。下記のURLから参加できます。参加の際は音声・画像をOffに。
#めざせ20人学級
URL: zoom.us/j/91167523583
ID: 91167523583

ZOOM LIVE
#めざせ20人学級

日時: 2020年7月15日(金) 18:00-18:15
内容: 全教プロジェクトを立ち上げた全教員による「めざせ20人学級」の発表と質疑応答
URL: https://zoom.us/j/91167523583

署名にアクセスを↓



教育署名で「20人学級」の展望を拓きたい

「20人学級」は当たり前の要求です。

今年の教育署名はネット署名を先行スタート! 署名依頼者に趣旨や内容をよく読んでほしいので、例年より大きいA3版にしました。裏面は掲示板に貼りだしたり、宣伝行動でも目立つフライヤーとして使えるように工夫しました。さらに、紙ベースの請願署名を促進させるために、ネット署名にもとりくんでいます。ネット署名は議会請願にはなりませんが、多くの人に目にとまる宣伝効果を期待しています。皆さんもQRコードより読み取りネット署名のご協力をお願いします。職場の教職員にも広げてください。



とりくみ期間

12月県議会への請願を予定しています。11月24日には県当局への要請集会も設定しました。教育署名はまもなく支部・単組の代表者に届きます。できるだけ早いうちに多くの人に教育署名の協力をお願いして、11月中旬に本部に届けてください。署名の数は要求実現のバロメーターにもなります。今年の教育署名で20人学級の展望を拓きましょう。

▼西川口駅を降りると、たくさんの人々の目線がこちらに向いてくる。それは、その子である子どもたちにも同様である。日本語教室の設置と十分な日本語教師の配置がなされていない。教室があってもエアコンがない、教材が不足しているなど問題が山積している▼遠い外国から来た子どもたちも人として日本で大切にされ、温かく迎えられた経験を胸に、将来、紛争や格差のない世界を実現するために、私たちの今の運動が大切になる(たけやき)



6/27 女性部定期大会

集まり話し合おうって
やっぱり大切

コロナにより、仲間との接触機会も減り、長い自粛生活後の久しぶりに女性教職員が集まりました。学校休校の中で、教育の本質を考え子どもを中心とした行事や教育



一斉対話で仲間ふやしを呼びかける足立女性部長

課程について、意見が相次ぎました。「友だちづくり」に大切な2ヶ月間を失った。密になるな、話しをするなど言うばかりでなく、子どもたちの心のケアを丁寧に行うことが大事」

「時間短縮の卒業式は挨拶なく子どもたちのうたいたい歌をうたった」「英語・道徳・総合の評価は学年末のみの記入にした」「市教委も『県学調』は実施しないと明言した」「分散登校での少人数学級のよさを再認識した。子どもたち丁寧に接することが出来る」等々、参加した代議員による交流



休業中、そして再開後の様子を活発に交流

で、提案した議案が豊かに深められました。女性部活動を表現する「集まれば元氣、語り合えば勇氣」という、そのままの大会になりました。

教育文化 研究所 コーナー

コロナ禍で日々の奮闘なさっている皆さんに敬意を表します。ストレスと過重労働による健康破壊が心配されます。

さて「さいたまの教育と文化」92号(夏号)をお届けします。「ここに人あり」は「命に向き合う」児童文学を手がけてくれた指田和さんの登場です。彼女の眼差しや思

子どもの声に 耳を傾けたい

いにふれ、平和の尊さ、困難のしわ寄せが集中命の大切さを胸に刻みしています。それなのに子どもの声は置き去りにされてきました。特集は、新たに教職員になられたみなさんへのメッセージです。異常な状況の中、不安と緊張の連続の日々を、行事や文化が奪われ、

「学力保障」や「授業時数確保」ばかりが優先され、楽しい学校行事や文化が奪われ、

「先生がいつもより話を聞いてくれたのがうれしい」「子どものやる気がすごい」「友だちといるだけで、おしゃべりもできて、ほっとした」分散登校で20人学級を経験した現場の声です。

送られた事でしょう。様々な立場の方のそれを読み、明日への活力になることを願っています。

「ポストコロナ」で子どもたちに説明できているでしょうか。耳を傾けるべきです。(事務局長 山内芳衛)

埼教組は、石川よしえさんを推薦します

新しい富士見市をつくるにじいろの会

【富士見市長選挙

7/19日告示、26日投票】



石川よしえさんは、埼玉県の教師として富士見市の教育に携わり、子どもたちの教育環境、教職員の労働条件改善に力を尽くしてきました。退職した後も、富士見市内の学校体育館と特別教室へのエアコン設置請願署名運動に先頭に立ちとりくみました。

母として・女性として・人として、ゆずれない3つの大切として、「子どもの最善の利益」「私たちの税金の使い方」「憲法と平和」を掲げています。なかでも、「安全で豊かな学びを子どもたちに保障するための条件整備として、『3密』を避ける20人以下の授業実施のために国と県と協力し、市独自で実施できる対策をすすめます」という石川よしえさんに期待します。

知っ得!!! 情報



政府の第2次補正予算、県の補正予算を受けて、下記の職員と支援費を小・中学校に緊急に追加措置されることになりました。

①授業中に担任とともに指導を行う学習指導員として、全ての小学校に2名、中学校に1名配置する。(週5日、1日4時間、28週間)

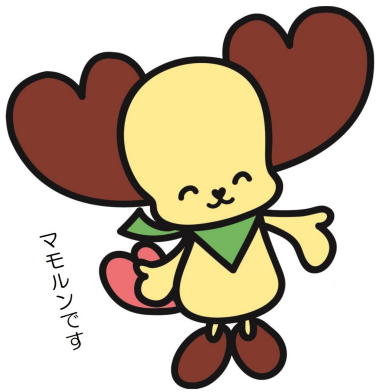
②換気や消毒などを行うスクールサポート



(1) 300人: 150万円、301~500人: 225万円、501人以上: 300万円)

③感染症対策・学習保障等に係る支援経費として、埼玉県内の小・中学校の各校には、教育活動の再開を支援する経費として緊急的に措置する。措置額は児童・生徒数に応じる。

教職員なら全教共済



全国で9万人が加入
おめでともつらいときも
みんなで助け合う総合共済

特別な事故対応
18%割引適用
カンタンWeb見積り



全教自動車保険

引受会社: 東京海上日動火災

月600円

【埼教組共済会】048-824-2759 saikyouso@kyoiku-net.org
自動車保険・がん保険【有】むさしの保険事務所 048-833-1918

埼教組